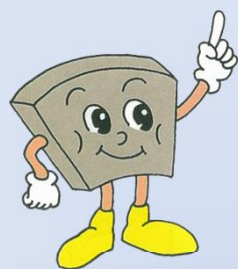
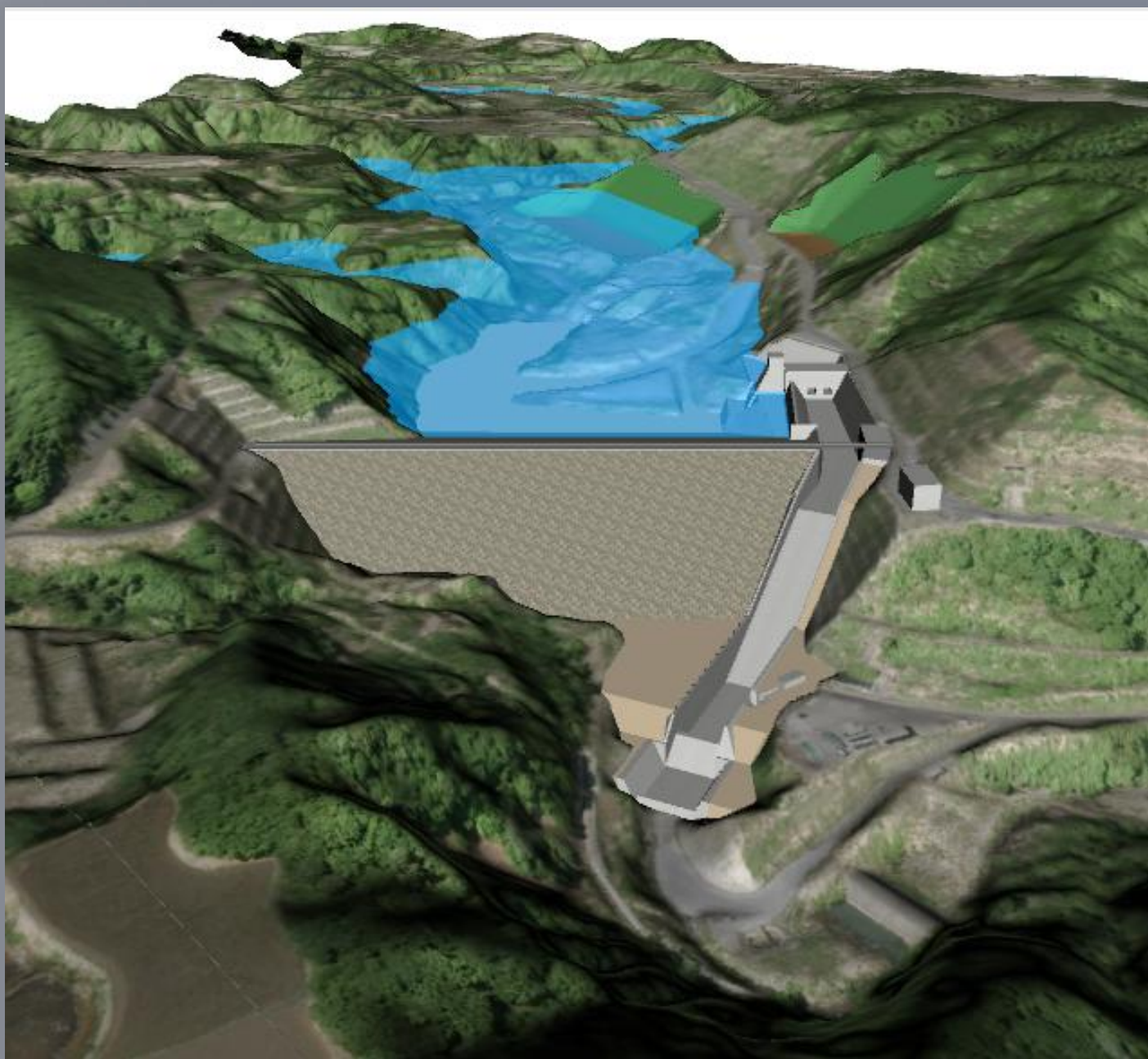


二級河川鵜川治水ダム建設事業



う かわ

# 鵜川ダム



ダム完成予想図



新潟県

新潟県柏崎地域振興局 地域整備部 ダム建設課

# 水害に強い社会基盤をつくります



耕地を潤し柏崎市街地を流下する鵜川

## ダム建設事業の概要

鵜川は源を新潟県柏崎市南部に位置する尾神岳とし、田屋川、上条芋川などの河川と合流しながら柏崎市の平野を流れる、流域面積108.7km<sup>2</sup>、延長24.6kmの二級河川です。

鵜川流域では豪雨の度に洪水が発生しており、昭和53年6月の水害では浸水家屋2,954戸・浸水農地1,569ha・被害総額52億円もの被害を受けました。また、近年では平成16年7月、平成17年6月に大きな水害が発生しました。災害の度に河川改修を行ってきましたが、鵜川流域では、工場進出や市街化が進み資産が集中していることから、抜本的な洪水対策が望まれています。

また鵜川は水辺に棲む多様な動植物を育み、流域の耕地の重要な水源になっていますが、幾度となく渇水に見舞われ、平成6年には稲作の減少・アユの不生育などの影響が発生しました。このような渇水時でも、利水や河川環境保全のために必要な川の水量が保てるよう、河川の正常な機能の維持が求められています。

このため、県では鵜川下流域の洪水被害の軽減、既得農業用水の安定化、河川環境保全等を目的とした鵜川ダム建設工事を行っています。

# 鵜川ダム建設までの歩み

## 豪雨・渇水

昭和34年	7月豪雨
昭和44年	豪雨および台風被害
昭和53年	6月梅雨前線豪雨 家屋浸水2,954戸 被害総額52億円
昭和59年	9月豪雨 被害総額17億円
昭和60年	水不足や稲の立ち枯れ
平成 2年	水不足や稲の立ち枯れ
平成 6年	水不足や稲の立ち枯れ
平成 7年	梅雨および豪雨による被害
平成16年	梅雨前線豪雨による被害
平成17年	梅雨前線豪雨による被害



平成6年渇水(柏崎市新道)

## 鵜川ダム

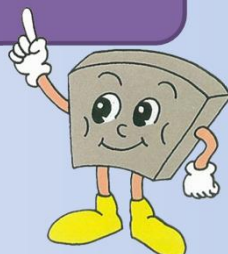
昭和45年	県単独の予備調査開始
昭和50年	補助ダムに採択され、実施計画調査に着手
昭和56年	鵜川ダムの建設事業採択
平成 5年	工事用道路などの建設工事に着手
平成16年	ダム本体工事着手 (平成16年3月25日契約)
平成19年	仮排水トンネル完成、転流
平成20年	基礎掘削着手
平成25年	洪水吐コンクリート打設開始
平成30年	本体盛立開始
令和10年	鵜川ダム竣工(予定)



昭和53年豪雨 柏崎駅前付近

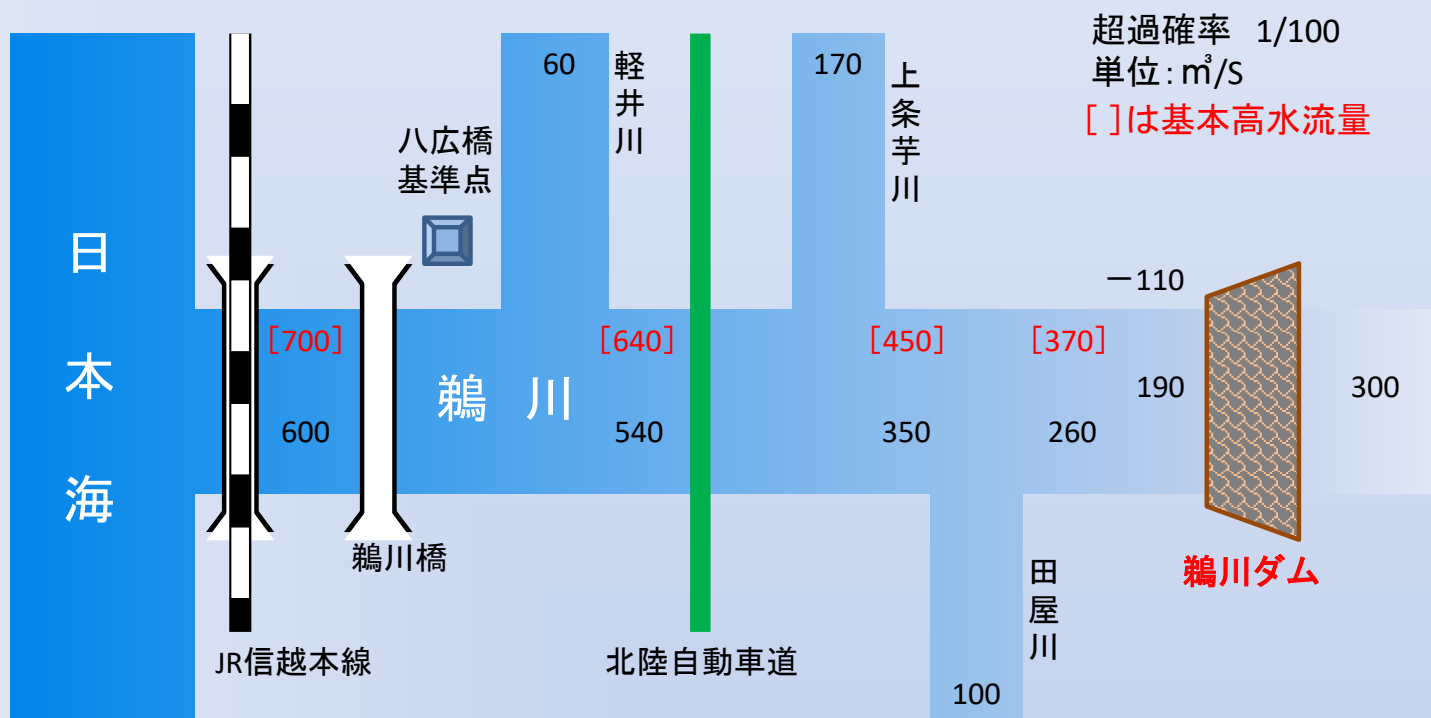
令和8年度の工事は

- ・下流護岸工
- ・試験湛水時導水路工
- ・堤頂工(舗装、照明等)

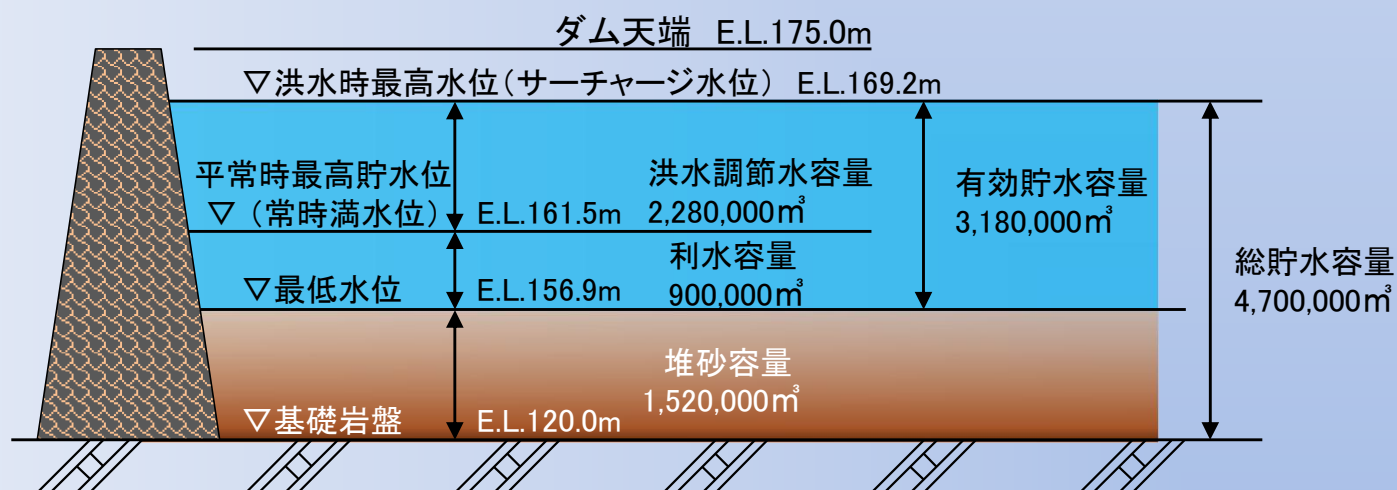


平成17年6月豪雨(柏崎市城東)

# 流量配分図



# 貯水容量配分図



## 用語解説

- 基本高水流量 : 計画基準点で発生するピークの流量の値
- 洪水時最高水位 : 洪水時のダムへ一時的に貯留する流水の最高水位 (サーチャージ水位)
- 平常時最高貯水位 : 平常時のダムへ貯留する流水の最高水位 (常時満水位)
- 最低水位 : 貯水池の運用計画上の最低水位

# ダムの諸元・形状

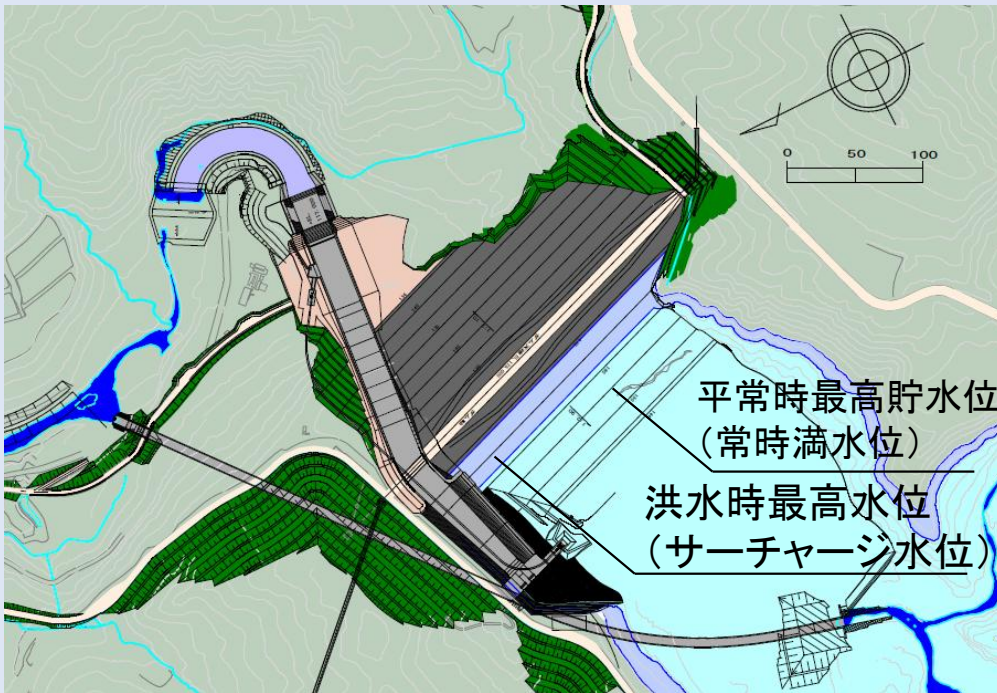
## 鵜川ダム事業計画概要図



## 鵜川ダム諸元

位置	左岸 右岸	新潟県柏崎市大字清水谷 同上
形式	中央コア型ロックフィルダム	
堤高	55.0 m	
堤頂長	267.0 m	
堤体積	944,000 m <sup>3</sup>	
非越流部標高	EL. 174.0 m	
集水面積	30.3 km <sup>2</sup>	
湛水面積	0.44 km <sup>2</sup>	
総貯水容量	4,700,000 m <sup>3</sup>	
有効貯水容量	3,180,000 m <sup>3</sup>	
平常時最高貯水位 (常時満水位)	EL. 161.5 m	
洪水時最高水位 (サーチャージ水位)	EL. 169.2 m	
設計洪水位	EL. 172.0 m	
常用洪水吐	オリフィスによる自然調節 H3.35m×B4.65m×2門	
非常用洪水吐	クレスト自由越流 H2.80m×B79.00m×1門	
計画高水流量	300 m <sup>3</sup> /s	

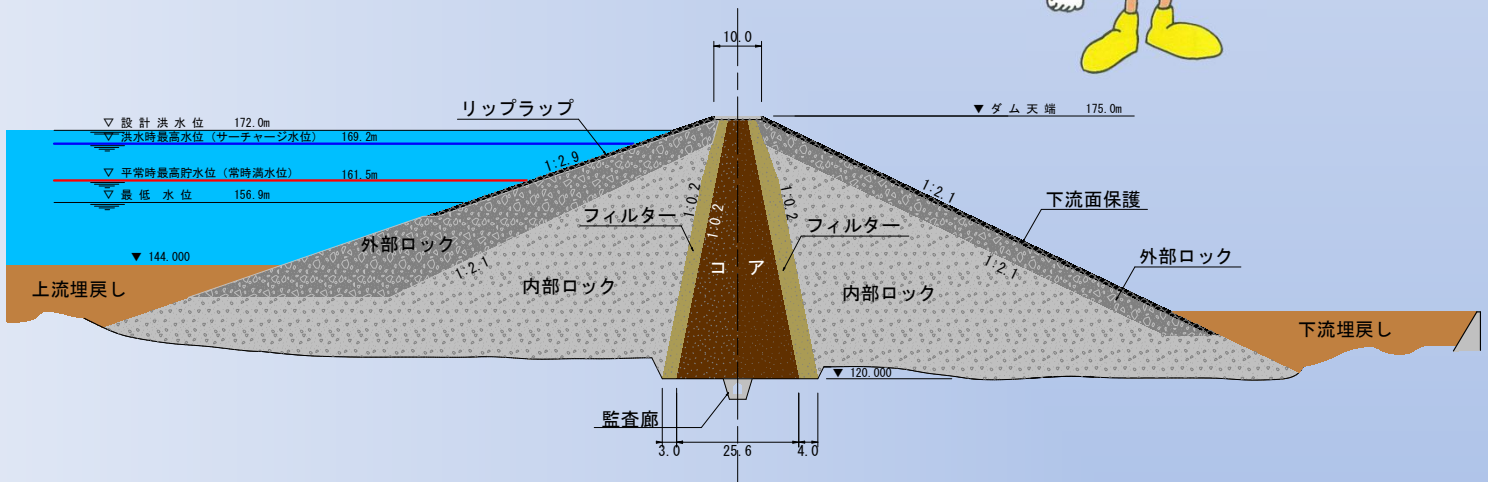
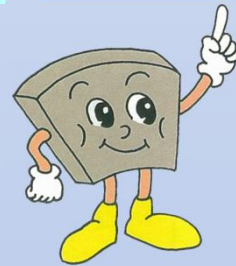
# ダム平面図



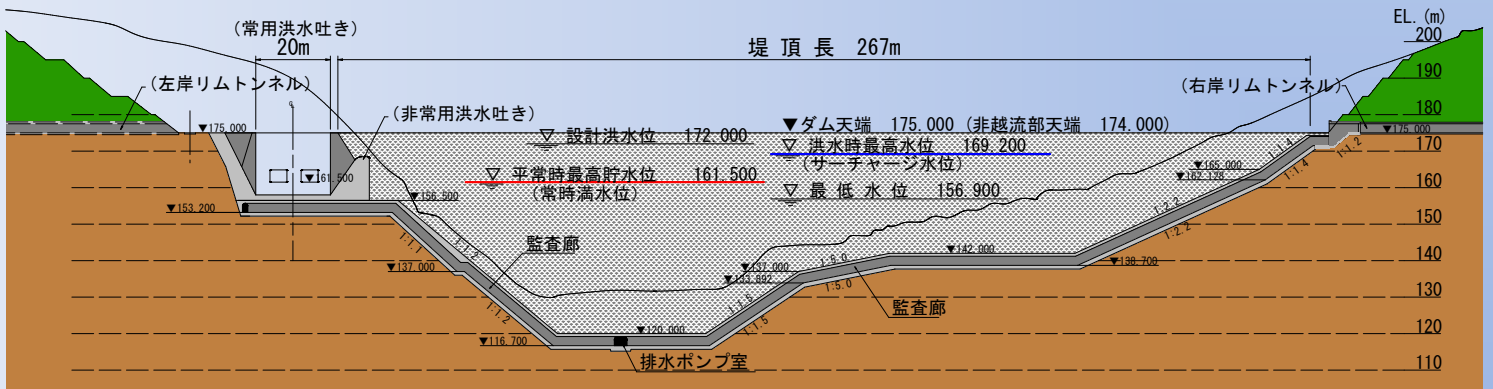
# 用語解説

- コア**
  - しゅ水機能をもつ細粒土質材料のしゅ水ゾーン
- フィルター**
  - コア材料の粒子流出を防ぐ半透水ゾーン
- 内部ロック**
  - コア、フィルターの各ゾーンを支える透水ゾーン
- 外部ロック**
  - ダムの斜面を安定させる透水ゾーン
- リップラップ**
  - ダムの堤体を保護するために、堤体の一番外側を覆うロック材

# ダム断面図



# ダム上流面図

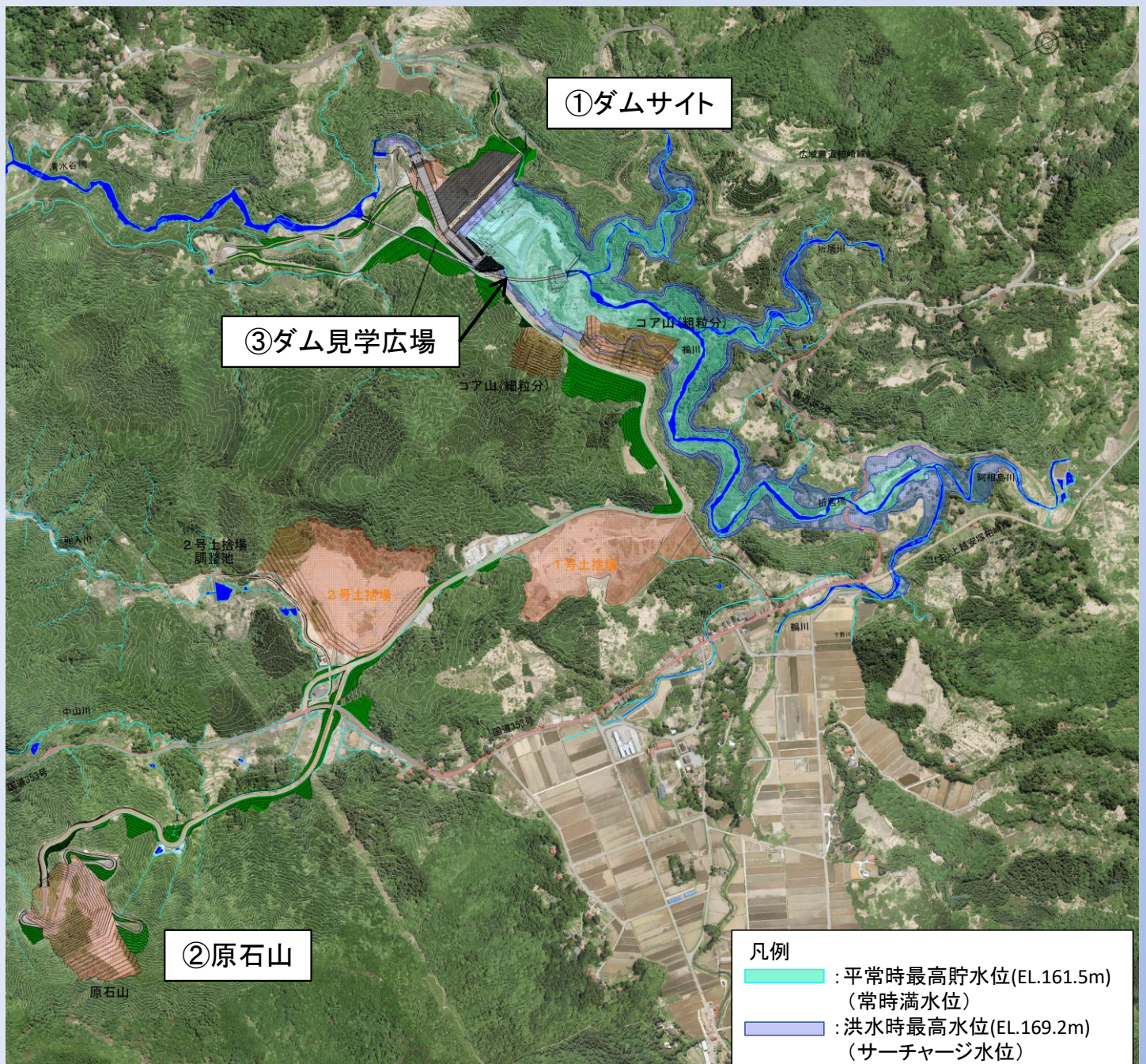


# 鵜川ダム計画平面図

鵜川ダムは岩石類を積み上げて造るロックフィルダムです。貯めた水によって基礎岩盤にかかる荷重が、コンクリートダムに比べて遙かに小さいため、基礎岩盤のあまり堅硬でないところに造ることができます。

鵜川ダムは、基礎となる岩盤に軟弱層が確認されたことや、コンクリートダム形式との経済比較を行った結果、ロックフィルダム形式のほうが優れているといった理由により、ロックフィルダム形式を採用しました。

また、鵜川周辺は多種多様な動植物が生息する自然環境豊かな地域となっています。そのため、動植物の環境保全を考慮し、環境に配慮しながらダム建設を実施していきます。



次ページに①ダムサイト,②原石山,③ダム見学広場の写真と完成予想を掲載しています。

# 鵜川ダムの写真と完成予想図

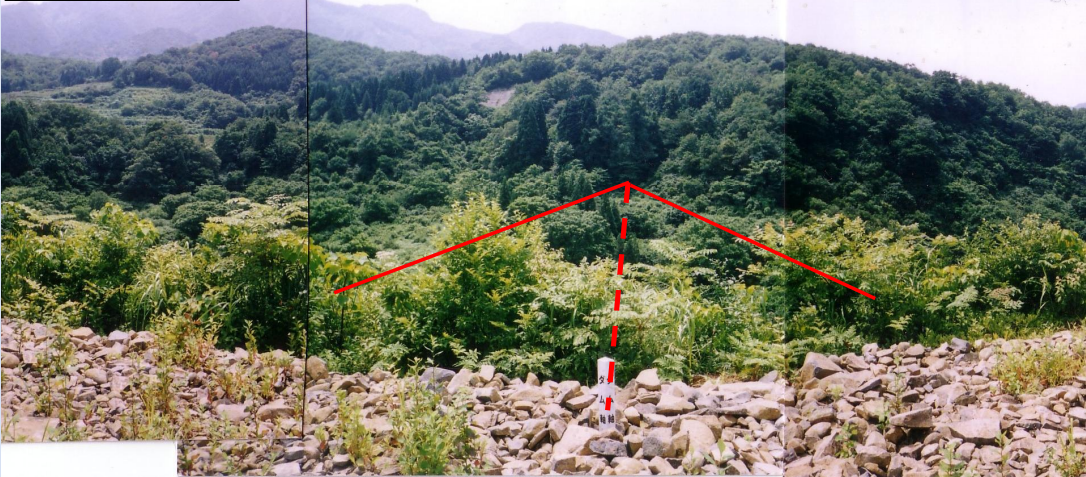
## ①ダムサイト



## ②原石山



ダムサイト  
左岸より



H13撮影

ダムサイト  
左岸より



R2.3撮影

ダムサイト  
左岸より



R7.11撮影

現在のダムサイトの状況  
(上流左岸から下流を望む)



R7.12撮影



高原田

## ダム位置図



## 綾子舞

綾子舞は、柏崎市女谷の黒姫山山麓の高原田、下野地区に伝承されている初期の歌舞伎踊りである。およそ五百年ほど前、越後の守護職上杉房能の妻綾子が伝えたといわれている。

両地区で装束が多少違い、高原田地区では赤い袴の巫女姿、下野地区では振袖にだらり帯、たぐり、白足袋姿。2～3人の少女が、頭にユライと呼ばれる赤い布を被り、扇を持って踊る舞で、毎年9月の第2日曜日に現地公開される。

古歌舞伎の面影を伝える舞は、素朴にして華やぎを秘め、いにしえ人の心の高まりに思いを重ねることができる。

昭和51年に国の重要無形民俗文化財に指定された。



下野



新潟県柏崎地域振興局 地域整備部 ダム建設課

〒945-0034 新潟県柏崎市三和町5番55号

TEL.0257(21)6339 FAX.0257(24)0346

柏崎地域整備部メールアドレス ngt111850@pref.niigata.lg.jp

新潟県土木部河川整備課

〒950-8570 新潟県新潟市中央区新光町4番地1

TEL.025(280)5418 FAX.025(280)5376

県庁ホームページ <https://www.pref.niigata.lg.jp/>



新潟県携帯端末版サイト  
「新潟県mobile」